


---

# H30 外環整備効果検討業務

## 報 告 書

平成31年3月

 パシフィックコンサルタンツ株式会社

---

# 全体目次

1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務委託の概要.....	1-1
1.3 業務履行範囲.....	1-2
1.4 業務項目・数量.....	1-3
1.5 業務フロー.....	1-4
1.6 業務内容.....	1-5
1.6.1 計画準備.....	1-5
1.6.2 将来交通量の推計.....	1-5
1.6.3 整備効果の整理.....	1-5
1.6.4 説明資料の作成.....	1-6
1.6.5 報告書作成.....	1-6
2. 将来交通量の推計.....	2-1
2.1 交通量配分手法の整理.....	2-1
2.2 交通量配分データの作成.....	2-7
2.3 交通量配分.....	2-59
3. 整備効果の整理.....	3-1
3.1 費用便益分析.....	3-1
3.1.1 便益算定条件.....	3-1
3.1.2 便益の算定.....	3-3
3.1.3 費用の算定.....	3-11
3.1.4 費用便益分析結果.....	3-14
3.2 現況の課題分析.....	3-15
3.2.1 3環状道路の局所的な課題.....	3-15
3.2.2 千葉外環開通による外環内側への影響把握.....	3-33
3.2.3 沿線住民の道路利用状況把握.....	3-45
3.2.4 企業立地状況.....	3-52
3.3 整備効果の整理.....	3-58
3.3.1 ヒアリング調査.....	3-58
3.3.2 課題箇所に対する整備効果.....	3-161
3.3.3 外環内側への整備効果.....	3-163
3.3.4 沿線地域への整備効果.....	3-170

---

4. 説明資料の作成.....	4-1
4.1 作成の概要.....	4-1
4.2 整理結果.....	4-2

---

## 目次

1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務委託の概要.....	1-1
1.3 業務履行範囲.....	1-2
1.4 業務項目・数量.....	1-3
1.5 業務フロー.....	1-4
1.6 業務内容.....	1-5
1.6.1 計画準備.....	1-5
1.6.2 将来交通量の推計.....	1-5
1.6.3 整備効果の整理.....	1-5
1.6.4 説明資料の作成.....	1-6
1.6.5 報告書作成.....	1-6

## 1. 業務概要

### 1.1 業務目的

本業務は、将来交通需要推計手法の最新知見を踏まえ、「費用便益分析マニュアル」に則して東京外かく環状道路（関越～東名）の整備による将来交通量を推計するとともに、本事業の整備効果について検討を実施し、その結果等を説明する資料作成を行うものである。

### 1.2 業務委託の概要

業務委託の概要は以下の表に示すとおりである。

表 1.2-1 業務委託概要

業務名	H30 外環整備効果検討業務
履行範囲	東京外かく環状道路（関越～東名）
履行期間	平成30年5月31日から平成31年3月29日まで
発注者	国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社

### 1.3 業務履行範囲

本業務の履行範囲は、以下の図に示すとおりである。



[JCT・ICは仮称・開通区間は除く]

出典：国土交通省関東地方整備局 HP より作成

図 1.3-1 本業務履行範囲

#### 1.4 業務項目・数量

本業務の業務項目・数量は、以下の表に示すとおりである。

表 1.4-1 業務項目・数量

項目	数量	備考
計画準備	1 式	
将来交通量の推計	1 式	
整備効果の整理	1 式	
説明資料の作成	1 式	
報告書作成	1 式	
打合せ協議	5 回	※その他、適宜実施

## 1.5 業務フロー

本業務の検討フローは、以下の図に示すとおりである。

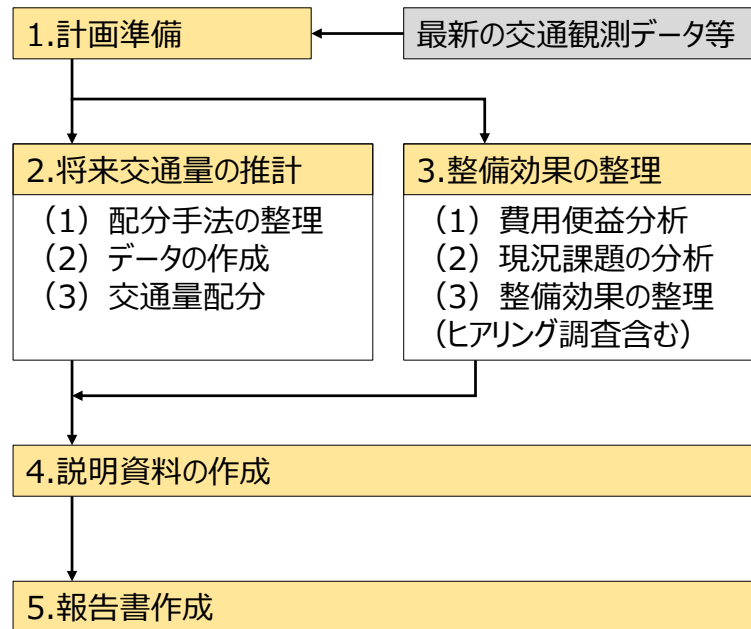


図 1.5-1 業務フロー



## 1.6 業務内容

本業務の各検討項目の内容を以下に示す。

### 1.6.1 計画準備

本業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

### 1.6.2 将来交通量の推計

最新の道路交通センサスに基づいて交通量配分用データを作成し、東京外かく環状道路（関越～東名）が整備される場合とされない場合の交通量配分を実施する。

なお、推計に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとし、詳細については調査職員と協議するものとする。

### 1.6.3 整備効果の整理

1.6.2 の将来交通量の推計結果に基づき、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備ありと整備なしの両ケースの配分結果等を用いて費用便益分析を行うものとする。

また、将来交通量の推計結果や最新の交通データや知見に基づき、現況の課題分析及び整備効果の整理を行うものとする。

なお、現況の課題分析及び整備効果の整理にあたっては、下の点に留意することとする。

- ・ 3環状道路の道路規格別（車線数、上下方向等）や時間帯別の混雑状況
- ・ 3環状道路の局所的なネットワークの課題（分岐合流部、料金所付近の渋滞等）
- ・ 東京外かく環状道路内側の高速道路ネットワークへの広域的な影響

なお、整備効果に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとし、詳細については調査職員と協議するものとする。

#### 1.6.4 説明資料の作成

上記 1.6.2 と 1.6.3 でとりまとめた整備効果等について、その内容を分かり易く説明するための資料を作成する。

なお、詳細については調査職員と協議するものとする。

#### 1.6.5 報告書作成

本業務の報告書を作成するものとする。なお、提出する詳細なデータの内容及び提出方法については、調査職員と協議するものとする。